

令和2年度事業報告

公益財団法人 日本相撲連盟

事業総括

公益財団法人日本相撲連盟

令和2年度事業の主たる成果と課題

1. 競技会の企画運営

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で46の主催・共催・後援の競技会のうち公益財団法人日本相撲連盟が主催する第69回全日本相撲選手権大会など11の競技会が、(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本オリンピック委員会、(公財)日本相撲協会、独立行政法人日本スポーツ振興センター、日本相撲振興会その他多くの関係団体のご支援をいただくとともに、開催地のご理解、そして役員の方々、関係各位のご尽力により円滑に運営され、相撲の普及・振興と競技力向上に大きな成果を収めることができました。

鹿児島県奄美市において開催予定であった第75回国民体育大会相撲競技会は、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和5年度に開催することになった。ポーランド・クロトシンで開催予定であった「第17回世界ジュニア相撲選手権大会」「第9回世界ジュニア女子相撲選手権大会」「第24回世界相撲選手権大会」「第15回世界女子相撲選手権大会」は、令和3年度に延期となった。

2. 会員登録の拡大と段位取得の奨励

本連盟が会員登録制度を実施して27年目になります。

会員登録制度は、アマチュア相撲に対する意欲の一層の向上を図るとともにアマチュアとしての資格を確保するものであり、競技会の役員への就任、段位の取得、公認審判員資格の取得をするためには会員登録をしていることが条件になっております。令和2年度はコロナ禍による各都道府県連盟の総会が遅れた関係で、会員登録事務手続きが停滞し4,500人に留まった。

会員登録は、段位登録とともに当連盟の自主財源の根幹を担うものでもあり、会員登録の拡大と段位取得の奨励を原点に戻って取り組む必要がある。

3. 女子相撲の普及促進

男子の相撲競技人口が漸減している昨今、女子相撲の普及振興を積極的に推し進め、競技人口の拡大を図ることが重要課題であります。令和2年度は、新型コロナウイルス禍の影響で、大会の開催、稽古の実践、実技への勧誘等が出来ず、停滞している状況です。

しかしながら、女子相撲が国体の正式競技として取り入れられ、男女のスポーツとして将来オリンピック競技に採用されることが大きな目標として取り組んでいかなければならない。

4. 中学校体育授業での武道必修化

中学校体育授業での武道必修化は、平成24年度から完全実施されました。現在のところ、実際に

授業で相撲を採用している学校は必ずしも多くはありませんが、本連盟作成の補助教材(DVD)等も活用しつつ、今後とも全国の教育委員会などを通じて中学校への普及・振興を図ります。(公財)日本武道館と共催で、第7回全国相撲指導者研修会を11月20日(金)～22日(日)に日本武道館研修センターにおいて開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため急遽中止となった。

次年度以降も相撲実技の指導者育成のために、各都道府県の教育委員会等への働きかけを進めるとともに、併せて各加盟団体の特段の協力を期待するところです。

5. 公認相撲指導員資格取得と国体監督の有資格者義務付け

平成25年度の第68回東京国体から、監督は公認相撲指導員であることが義務付けられました。各都道府県相撲連盟と協力し、全都道府県に資格取得者が配置されるよう資格取得を進め、今年度は通信講座と東京・日本相撲連盟会館で専門科目の講習会を開催し、新たに11名の公認相撲指導員が誕生しました。

令和2年度事業報告

1. 会務報告

評議員会	2回	理事会	3回
常務理事会	16回		
審議委員会(倫理・資格・懲罰委員会)	3回	段位審査委員会	3回

第1回常務理事会	書面	5月13日
第2回常務理事会	〃	6月2日
第3回常務理事会	〃	6月12日
第1回理事会	〃	6月10日
定時評議員会	〃	6月15日
第1回段位審査委員会	〃	6月20日
第1回倫理・資格・懲罰委員会	〃	6月26日
第4回常務理事会	〃	7月5日
第5回常務理事会	日相連会館会議室	7月14日
第6回常務理事会	〃	7月28日
第7回常務理事会	〃	9月8日
第8回常務理事会	〃	9月29日
第9回常務理事会	〃	10月13日
第10回常務理事会	〃	10月27日
第11回常務理事会	〃	11月10日
第12回常務理事会	〃	11月17日
第13回常務理事会	〃	12月1日
第2回倫理・資格・懲罰委員会	(書面)	12月2日
第2回段位審査委員会	日相連会館会議室	12月5日
第14回常務理事	〃	12月15日
第2回理事会	(書面)	12月23日
第15回常務理事会	日相連会館会議室	2月16日
第3回倫理・資格・懲罰委員会	(書面)	2月26日
第16回常務理事会	日相連会館会議室	3月2日
第3回理事会	〃	3月13日
第2回評議員会	〃	3月13日
第3回段位審査委員会	〃	3月13日

2. 相撲の普及・指導に関する事業

(1) 第37回全国小・中・高等学校、大学及び社会体育相撲指導者研修会

共 催 (公財)日本相撲協会

期 日 令和2年8月18日(火)～21日(金)

会 場 国技館相撲教習所・草津相撲研修道場

上記の日程で計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。

(2) 第7回全国相撲指導者研修会

共 催 (公財)日本武道館

期 日 令和2年11月20日(金)～22日(日)

会 場 日本武道館研修センター

参加者 25名出席予定

上記の日程で計画していたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、公益財団法人日本武道館と協議し、急遽中止とした。

(3) 令和2年度学校相撲実技指導者講習会(中学校体育教員の講習会)

共 催 スポーツ庁

期 日 令和2年2月中旬予定

会 場 千代田区立スポーツセンター 大会議室・相撲場他

上記の日程で計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、急遽中止となった。

(4) 公認相撲コーチI養成講座(専門講座)

主 催 (公財)日本スポーツ協会

期日・会場 令和3年2月13日(土)～14日(日)

日本相撲連盟会館会議室

研修内容 ①「相撲の特性I」

②「日本相撲連盟の指導理念とその組織」

③「ドーピング防止I」

④「相撲の安全管理I」

⑤「対象に応じた指導プログラムI」

⑥「現場における救急処置法I」

講 師 櫛原常務理事、浦嶋常務理事、満留久摩医学科学委員

村田光央競技委員、村田安啓競技委員

受講参加者 11名

(5) その他

①地方青少年武道錬成大会（主催 日本武道館他）

6月19日（金）～21日（日） 鳥取県鳥取市

11月14日（土）～15日（日） 山梨県都留市

11月28日（土）～29日（日） 静岡県藤枝市

上記日程で計画していたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、日本武道館と協議し、中止とした。

②地域社会相撲指導者研修会

今年度の開催予定はなし。

③少年相撲教室

（主催 教育委員会 後援 日本相撲協会・日本相撲連盟）

新型コロナウイルス感染症のため、全て中止となった。

④中学校武道事業（相撲）指導法研究事業（公益財団法人日本武道館）

日 時 令和3年3月14日（日）

場 所 日本相撲連盟会館会議室

出席者 日本相撲連盟から推薦された指導法研究者10名と事務局1名、日本武道館2名

内 容 新学習要領に基づく学習の手引きの作成及び検証等

3. 競技力向上に関する事業

(1) 令和2年度全日本ジュニア強化合宿

当初4月1日（水）～3日（金）日本大学相撲部道場で予定していたが、新型コロナウイルス感染症が終息せず、中止となった。

4. 競技会の開催・審判員の養成に関する事業

(1) 相撲競技会の開催

全国大会、地方大会、合わせて11の大会が盛況裡に終了した。

(2) 地域振興事業

JOCジュニアオリンピックカップ・第33回全日本小学生相撲優勝大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防をはかるため、中止とし、併せてブロック予選会も中止となった。

(3) 公認審判員の認証

①公認審判員の認証者数

認証月	申請数	合格者
4月	15	15
5月	2	2
6月	10	10
7月	3	3
8月	2	2
9月	1	1
10月	0	0
11月	1	1
12月	0	0
1月	1	1
2月	0	0
3月	0	0
合計	35	35

②ブロック別認証者累計

ブロック名	登録数
北海道	0
東北	14
関東	1
北信越	3
東海	0
関西	3
中国	0
四国	0
九州	13
日学連	0
日実業	1
高体連	0
合計	35

(4) 審判講習会の開催

主催	場所	講師	開催日
山形県相撲連盟	最上広域交流センター	岩淵理事	10月31日
岩手県相撲連盟	岩手県営武道館	佐藤競技委員	11月1日
兵庫県相撲連盟	姫路市網干南公園相撲場	西尾競技委員	11月1日
日本学生相撲連盟	日本相撲連盟会館会議室	舩田常務理事	11月6日
宮崎県相撲連盟	ひなた武道館	倉園評議員	11月8日
佐賀県相撲連盟	唐津市体育の森公園相撲場	倉園評議員	2月14日
新潟県相撲連盟	上越市教育プラザ	齋藤常務理事	2月28日
栃木県相撲連盟	栃木県立北体育館	齋藤常務理事	3月7日
北海道相撲連盟	中島中央センター	岩淵理事	3月20日
三重県相撲連盟	宇治山田商業高校相撲場	竹内参事	3月21日
審判講習会合計	10ヶ所	10名	

5. 会員登録に関する事業

* 令和元年度会員登録

(合計 5,714 名)

小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	役員等
1,399	519	1,085	821	297	1,593

* 令和2年度会員登録

(合計 4,475 名)

小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	役員等
1,090	371	992	576	204	1,242

6. 相撲段位の認定に関する事業

(1) 段位の認定に関する事業

申請日 段 位	R2. 6. 20		R2. 12. 5		R3. 3. 13		年 間 合格者	登録者 総 数
	申請数	合格数	申請数	合格数	申請数	合格数		
初段	37	37	77	77	54	54	168	36,173
2 段	31	31	45	45	29	29	105	19,882
3 段	28	28	55	55	7	7	90	17,903
4 段	17	17	36	36	12	12	65	7,199
5 段	5	5	1	1	1	1	8	2,670
6 段	0	0	1	1	1	1	2	1,602
7 段	1	1	1	1	1	0	2	793
8 段	0	0	0	0	0	0	0	185
9 段	0	0	0	0	0	0	0	31
10 段	0	0	0	0	0	0	0	3
合 計	119	119	216	216	105	104	439	86,440

(2) 高段者会入会

	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中国	四国	九州	日学連	日実業	高体連	合計
人数	80	248	251	346	99	339	92	109	330	76	23	16	2,009
増加	0	1	0	0	0	1	1	0	2	1	1	0	7

(3) 名誉段位贈呈

国民体育大会延期のため、名誉段位贈呈は、なし。

(4) 追授段位贈呈

段位	氏名	所属	認証日
8	鈴木斌次郎	秋田県相撲連盟会長	7月1日
8	宮島傳兵衛	佐賀県相撲連盟名誉会長	7月10日
8	岸本 英雄	佐賀県相撲連盟会長	7月10日
8	宮崎 晴幸	九州相撲協議会理事長	8月1日
7	下田春男	石川県相撲連盟相談役	3月1日

7. 広報に関する事業

(1) 機関誌「ちから」245号を発行した。

今回より主要大会の記録に加え、「選手写真名鑑」「注目選手、クラブ紹介」などの多彩に企画を掲載した。

(2) 「アンチ・ドーピング関連情報」コーナーをホームページ内に設け、啓発活動に努めている。

(3) 「ちから」211号から医科学委員会の協力により「土俵の健康」の連載を継続している。

(4) 相撲教室、相撲道場などを積極的に紹介し、底辺の拡大を図っている。

8. 倫理・資格・懲罰に関する事業

(1) 第1回審議委員会(6月25日 書面決議)

①アマチュア復帰の承認(6月25日)

(氏名)	(年齢)	(出身地)	(部屋)	(最高位)	(引退)
吉田 和樹	35歳	石川県	荒 汐	西三段目62	平成30年1月

(2) 第2回倫理・資格・懲罰委員会(11月26日 日本相撲連盟会館会議室)

①アマチュア復帰の承認(12月2日 書面決議)

(氏名)	(年齢)	(出身地)	(部屋)	(最高位)	(引退)
中谷 健	41歳	東京都	春日野	東幕下42	平成18年5月

②令和2年度日本相撲連盟相撲功労賞受賞者

伊東 勝人 (日本相撲連盟参事、近畿大学相撲部前監督)

橋本 剛 (和歌山県相撲連盟理事長)

(12月6日(日)両国国技館で開催の全日本相撲選手権大会会場において表彰された。)

(3) 第3回倫理・資格・懲罰委員会(2月26日 書面決議)

①アマチュア復帰の承認

(氏名)	(年齢)	(出身地)	(部屋)	(最高位)	(引退)
丹羽福太郎	22歳	京都府	伊勢ヶ濱	東三段目26	令和2年3月

②日本相撲連盟 令和2年度優秀団体・個人受賞者

最優秀団体賞 日本大学相撲部

優秀団体賞 社会人 該当なし

大学 日本体育大学相撲部

高等学校 該当なし

中学校 該当なし

女子相撲 該当なし

最優秀個人賞 花田 秀虎(日本体育大学)

優秀個人賞 社会人 小山内 力樹(日本通運)

大学 デルゲルバヤル(日本体育大学)

高等学校 落合 哲也(鳥取城北高等学校)

中学校 五十嵐 翔(富山県・高岡市立南星中学校)

女子相撲 該当なし

(3月13日開催の令和2年度第2回評議員会の席上で表彰された。)

9. 医科学に関する事業

(1) ドーピング検査の実施

月 日	大 会 名	検体数	会 場
12月6日	全日本相撲選手権大会	8	両国・国技館（東京）

(2) アンチ・ドーピング啓発講習会の開催

新型コロナウイルス感染症のため、各大会が中止、延期となり、開催されていない。それに伴い各団体には、啓蒙のための冊子などを配布した。

10. コンプライアンス・ガバナンス

公益財団法人として、「法令・定款に則った財団運営」に常時配意し、公正な運営に努めた。

以 上